

「1通の手紙」

校長 金山 達也

11月、私の机の上に、1通の手紙が置かれていました。

差出人を見ると、ある美瑛町の企業の方からでした。その手紙には、先月10月に実施した2学年の職場体験学習に関するお礼の言葉が書かれていました。よく見ると、切手が貼ってなかったため、手紙を受け取った先生に聞くと、直接学校に届けていただいたとのこと。私は、すぐにその方に電話をかけました。お忙しいなか、本校の生徒を2日間にわたって受け入れてもらったにも関わらず、逆にお礼の言葉をいただいたことに感激していました。

中学校の3年間は、自分探しの旅であり、自立に向けた様々な力をつけ、様々な困難を乗り越えるエネルギーをためる期間でもあります。自分の将来に目をむけながら、学校生活を通して、様々な経験を積み上げ、成長へと向かう大切な時期です。その経験をする場所は、学校の中だけにとどまらず、今回のような職場訪問学習や職場体験学習のように、学校の外にまで広がっています。現在、インターネットなどを活用すれば、学校の外に出ずとも、机の上でいろいろなことを調べることはできます。ただ、働いている方の話を直接聞いたり、仕事を見たり、体験したりすることの重要性は、昔も今も変わることなく、生徒にとって、「生きた経験」となります。

先日、1学年の職場訪問学習と2学年の職場体験学習のまとめの発表を実施しました。さらにこの3年間のキャリア学習のまとめを3年生がプレゼンテーションしました。それらの発表の中には、「働くことについて」学んだことはもちろんのこと、「将来への不安や期待」など様々な経験や思いが集約されていました。そして、それらの発表を聞いていると、自分の言葉としてまとめられていたことに驚きました。皆さまからいただいた「生きた経験」が子どもたちのなかで、しっかりと育まれた証です。お忙しい合間をぬって、仕事の大変さ、厳しさ、楽しさ、やりがい・・・を直接、語っていただいていた皆さまのおかげです。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

美瑛町の宝である子どもたちの健やかな成長のために、今後ともご協力をいただければ幸いです。

1年生防災教室

1年生の総合的な学習の時間では、防災学習を行いました。関係機関や企業の方の話を聞いた後、HUG（避難所運営ゲーム）を行いました。避難所を開設した際に、どのようにスペースを振り分けるか考えるものです。グループごとに、「お年寄りや寒いように」、「ペットがいる家族はここに集めて」など、被災者の立場になって考えることができました。



「柔道」自他共栄の精神で

現在、保健体育の学習では「柔道」の学習を行い、受け身や投げ技、固め技など基本動作や基本となる技を繰り返し練習しています。武道は相手に勝つだけでなく、相手と尊重し合い、人間形成を図るものでもあることを学んでいます。



「書写」秀逸な作品が多数

国語において「書写（毛筆）」の学習を行いました。最近はキーボードを使って文字を入力することが増え、字を書くことが少なくなってきていますが、生徒達の作品をみるととても整った字が多く、丁寧に取り組める力を感じられます。



後期生徒会本部役員紹介

会長 植村 心奏（2年）
副会長 田中 優大（2年） 笹倉 聖奈（2年）
書記 土井美乃織（1年） 奥澤 樹一（2年）
会計 伊庭 一善（2年）

美瑛中の代表として半年間頑張ってください。



美瑛中 topics

美瑛出身の漫画家 芋畑サリーさんのコミックスの寄贈がありました。図書室にあります。



横牛の村井隆之さんが生産された宮中新嘗祭の献上米が学校給食に寄贈されました。

